

◆ 令和6年度ごみ減量・資源化の状況について

○ 多摩市一般廃棄物処理基本計画（計画期間：令和5年度～令和14年度）における ごみ減量目標

- ① 排出量(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害性ごみ)を14.0%削減(家庭系・事業系とも令和5年度から毎年約1.5%前後の着実な減量が必要)
- ② 資源化率38.0%以上を目指す
- ③ 焼却残さを資源化し、埋立処分量0tを維持する

・**令和6年度のごみ量は、基準年度の令和3年度比で6.4%減少し、一般廃棄物処理基本計画で掲げる目標（10年で14.3%減、計画期間2年目の令和6年度は2.8%減）を上回る結果となった。**

・持込ごみ（事業系）は、令和6年度は前年度比1.4%増となった。

平成28年度の手数料改定以降、持込ごみ（事業系）については減少傾向が続いているが、令和6年度は粗大ごみが増加したことで微増となっている。

引き続きしっかりと清掃工場での搬入物検査や排出事業所への訪問指導などに取り組む。

・収集ごみ（家庭系）については、令和6年度は前年度比で0.9%減、基準年度の令和3年度比で7.6%減となった。

これは一般廃棄物処理基本計画で掲げる令和6年度目標3.3%減を上回る結果となっている。

・**資源化率**については、近年3.2～3.5%を推移しており、基準年度の令和3年度の34.0%に対し、**令和6年度は33.5%**となった。

微減となっている原因としては、ごみ総量の減量しているものの、古紙類や古布の排出量は減少し、これまでごみとして排出されていた資源がきちんと分別されてきていると考えられる。

・**埋立量**については、清掃工場において不燃残渣（埋め立てごみ）から金属等を再度取り出しエコセメントの原料として全量を資源化することにより、平成27年度に0tとなり、以降は**令和6年度を含め0tを継続し続けている。**

① 排出量の推移

区分	種類	令和3年度(基準年)		令和5年度			令和6年度			令和14年度目標値			
		量(t)	1人1日(g)	量(t)	1人1日(g)	減量率*1	量(t)	1人1日(g)	減量率*1	前年度比	量(t)	1人1日(g)	減量率*1
収集ごみ（家庭系）	可燃ごみ	21,684	401.6	20,368	376.2	▲6.3	20,122	372.3	▲7.3	▲1.0	17,432	337.0	▲16.1
	不燃ごみ	844	15.6	701	13.0	▲16.7	676	12.5	▲19.9	▲3.8	560	10.8	▲30.8
	粗大ごみ	991	18.3	908	16.8	▲8.2	955	17.7	▲3.3	5.4	1,025	19.8	8.2
	有害性ごみ	52	1.0	45	0.8	▲20.0	46	0.9	▲10.0	12.5	52	1.0	0.0
	小計(ごみ)	23,571	436.5	22,022	406.8	▲6.8	21,799	403.4	▲7.6	▲0.8	19,069	368.6	▲15.5
	資源	6,506	120.5	6,116	113.0	▲6.2	5,868	108.6	▲9.9	▲3.9	6,963	134.6	11.7
	合計(ごみ・資源)	30,077	557.0	28,138	519.8	▲6.7	27,667	512.0	▲8.1	▲1.5	26,032	503.2	▲9.7
	可燃ごみ	6,473	119.9	6,345	117.2	▲2.3	6,424	118.9	▲0.8	1.5	5,257	101.6	▲15.2
持込ごみ（事業系）	不燃ごみ	4	0.1	3	0.1	0.0	1	0.0	▲100.0	▲100.0	5	0.1	0.0
	粗大ごみ	570	10.6	460	8.5	▲19.8	467	8.6	▲18.9	1.2	801	15.5	46.2
	有害性ごみ	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	小計(ごみ)	7,047	130.6	6,808	125.8	▲3.7	6,892	127.5	▲2.4	1.4	6,064	117.2	▲10.2
	資源	170	3.1	139	2.6	▲16.1	153	2.8	▲9.7	7.7	150	2.9	▲6.5
	合計(ごみ・資源)	7,217	133.7	6,947	128.4	▲4.0	7,045	130.3	▲2.5	1.5	6,214	120.1	▲10.1
	ごみ量	30,617	567.1	28,830	532.6	▲6.1	28,691	530.9	▲6.4	▲0.3	25,133	485.9	▲14.3
	資源	6,676	123.6	6,255	115.6	▲6.5	6,021	111.4	▲9.9	▲3.6	7,113	137.5	11.2
	総ごみ量	37,293	690.7	35,085	648.2	▲6.2	34,712	642.3	▲7.0	▲0.9	32,246	623.4	▲9.7

※総量端数切り上げ

※総量端数切り上げ

※総量端数切り上げ

基準人口(人)  
(各年10月1日)

147,922

147,904

147,661

141,699

② 資源化率の推移

集団回収量	3,042	2,835	2,715	3,029
資源収集による資源化量	6,676	6,255	6,021	7,113
処理後再生使用量	3,985	3,036	3,815	3,334
総資源化量	13,703	12,126	12,551	13,476
総ごみ量+集団回収量	40,335	37,920	37,427	35,275
資源化率(%) *2	34.0	32.0	33.5	38.2

③ 埋立量の推移

埋立量(t)	0	0	0	0
--------	---	---	---	---

\*1 減量率とは令和3年度(基準年)に対する各年度の1人1日あたり排出量の増減率をいう。

\*2 資源化率=(資源量+資源集団回収量+清掃工場における資源回収量)/(総ごみ量+資源集団回収量)